

+ 3.1 (教育課程の評価) = 3.2

ア プロフィールの作成

全評価対象(小項目ごと)の平均点の位置をプロフィール欄に記入する。

「教育目標の認識」の小項目をプロフィール化すれば表7のようになる。

イ 「自由記述」の整理

記入された内容を「問題点」と「改善策」について評価対象小項目ごとにまとめる。

ウ 集計結果の活用

集計の結果求められた数値やプロフィールだけで評価・診断するという短絡的な考え方はしないで、自由記述の意見などと合わせ、あくまでも全体で協議する資料として活用するようにしたい。

⑤ 評価対象P-D-S集計表への記入

ア 「評価対象P-D-S集計表」の記入の仕方

評価対象における評定の平均で算出した、各評価対象ごとのP・D・Sの各段階の評定の平均値を記入する。その事例は表8としてまとめて掲載したので参照されたい。

なお、「段階平均」の記入及び活用の方法については、表8の事例をもとに、次の項で改めて説明を加えることにする。

表8 「評価対象P-D-S集計表」記入例

評価対象		段階			平均
		Pの段階	Dの段階	Sの段階	
教育目標	教育目標の設定	3.4	3.4	2.7	3.2
	教育目標の重点化・具体化	3.2	3.0	2.8	3.0
教育課程	教育課程の編成作業	3.6	3.2	3.0	3.3
	教育課程の内容	3.5	3.2	3.1	3.3
指導計画	教科	3.6	3.3	2.8	3.3
	道徳	3.5	3.1	2.2	2.9
	特別活動	3.5	3.2	2.5	3.1

授業活動の実際	教科	3.7	3.5	3.0	3.4
	道徳	3.3	3.0	2.5	2.9
	特別活動	3.4	3.1	2.7	3.1
教育活動全体を通して行う教育活動		3.6	3.2	3.0	3.3
創意を生かした教育活動		3.7	3.5	3.3	3.5
健康・安全に関する指導		3.4	3.3	3.0	3.2
生徒指導		3.8	3.6	3.2	3.5
学年・学級経営		3.7	3.5	3.4	3.2
研究・研修		3.5	3.4	3.0	3.3
教育課程評価		3.3	3.0	2.7	3.0
段階平均		3.5	3.3	2.9	3.3

イ P・D・S各段階平均の記入

○段階平均の算出の仕方

一例として、Pの段階の段階平均の算出の仕方は、次の式のようにになる。

$$\frac{3.4 + 3.2 + 3.6 + 3.5 + 3.6 + 3.5 + 3.5 + 3.7 + 3.3 + 3.4 + 3.6 + 3.7 + 3.4 + 3.8 + 3.7 + 3.5 + 3.3}{17} = 3.5$$

3.5が小項目17の評価対象のP段階の平均を示す。以下同じようにD・S段階の段階平均を算出する。

○総平均の算出の仕方

次の式で上の表の※印の総平均を算出する。

$$\frac{3.5 + 3.3 + 2.9}{3} = 3.3$$

表8の※印の数値3.3は、教育課程経営上の問題点を把握する上での基準とする。この※印の数値を総平均と仮称し、プロフィールの際の中央値とする。

表8をプロフィール化してあらわすと、表